

ダンテ禮讃

(ミケランゼロ、ブオナロタイ)

村上喜貞

天降り來て、現身をもち、
地獄界淨罪界を
行きめぐり、ふたたび天に
神の眼をまさめに見しは、
まことなる聖のひかりに
人の眼をひらかんがため。

あゝくしき星のひかりは
醜の巢のわが産土の
フィレンチエの町に照りたり、
何をもて君にむくいむ、
大つちはけがれはてたり。

君を生^なせし天つ空をこそ。

捧ぐべき正しき人に

敬愛を捧^たげも得せぬ

忘恩のやからの目には、

偉^{おほ}いなる君がみわざは

まこしへにかくれたりけり。

あはれわれ、天寵あつき

君ごもし身を變へ得なば

入の世の幸^{さいち}は願はじ、

草枕旅より旅に

逐客の生を経なましを。